

# 建設通信新聞

## 足立議員に推薦状

道建協

日本道路建設業協会（西田義則会長）は、自民党の足立敏之参院議員を2021年夏に予定されている第26回参院議員通常選挙（比例代表）の職域代表候補者として推薦することを決め、18日、西田会長が足立議員に推薦状を手渡した。

推薦状を受け取った足立議員は、これまでの活動によって公共事業予算が防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により5年で15兆円規模の予算を確保できる見通しとなったと指摘。今後はイ

ンフラの老朽化対策や高速道路の4車線化などが課題として残されているため、「引き続き建設分野の代表として国政で仕事をやるチャンスをいただけなら、引き続き公共事業予算の量の確保と質の確保を始めた足立議員の建設産業再生に向けた現在までの活動を高く評価。公共工物品確法の改正に加え、安定かつ持続的な公共事業予算の確保とともに、特に「災害発生時にはいち早く被災地に向かれ、被災地のニーズを的確に把握し、国政に反映してきた」と述べ、今後建設産業のために活躍してもらえよう、当選に向けて道建協全体で支援していく考えを示した。



足立議員（左）と西田会長